

2021年7月26日

調査室

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 26,7000~28,500円 TOPIX 1,850~1,960  
 \* 期待材料 企業業績の回復 秋の衆院選に向けた経済対策 東京オリンピックでの日本選手の活躍  
 \* 不安材料 新型コロナデルタ株の感染拡大 各国の量的金融緩和縮小

世界的にデルタ株の感染拡大が続く中、16日、米保険当局者がワクチン未接種者の間で死者が拡大していると警鐘を鳴らし、米国内の感染者数が前週比70%、死者数は26%それぞれ増加したと明らかにした。また、米ロサンゼルス郡は15日、マスク着用の義務措置を再導入すると発表した。これを受け16日の米国市場で景気敏感株や航空、クルーズ船などの旅行関連株が大きく売られると、週明け19日の日経平均は一時500円以上値下がりし、約1年間の終値の平均である200日移動平均を2020年7月31日以来、約1年ぶりに下回って終わった。デルタ株の感染拡大に加え、決算発表シーズン入り直前の手控えムードも重なり、オリンピック開幕に伴う4連休を控えポジション調整の売りも出たと思われる。また、7月第2週の信用買い残が、ここ10年で最大規模となった18年3月の3兆6,000億円の水準まで増加し、21年2月16日に付けた高値30,467.75円から5ヵ月経つこともあり、需給の悪化が懸念された。週明けの米国市場は、前週金曜日のデルタ株の感染拡大による景気回復頓挫懸念を引き継ぐ形で19日のNYダウは2%を超える下落。経済正常化による業績回復期待で上昇していた景気敏感株を中心に幅広く売られた。これを受け20日の日本市場も下落で始まったが、日経平均の下落は小幅に留まっている。日経平均で27,500円近辺のPERは13倍半ばとなっていることで、バリュエーション面で割安感が出てくる水準であることや、年初来の終値の安値が27,055.94円である点を考慮すると、下落局面では押目買いが入りやすい状況であると思われる。実際に今期の利益が前期比2.4倍になると報じられたキヤノンが買われ3ヵ月ぶりの高値を付けた。米国でも下落が続いていた半導体関連に決算発表を前に押目買いが入るなど、下がったところでは個別株の仕込み場的な雰囲気も出てきている。今週は米国が決算発表のピークを迎え、26日のテスラ、27日のアップル、グーグル親会社のアルファベット、マイクロソフト、28日のボーイング、ファイザー、29日のアマゾンなど多数の企業の決算発表が予定され、日本でも本格的な決算発表シーズン入りとなる。27日の信越化学ではシリコンウエハと塩ビ、28日のアドバンテストでは半導体、29日の村田製作所は電子部品、30日のデンソーでは自動車部品など日本企業全体の先行きを見通すうえで注目度が高い企業の決算発表が予定されている。(20日現在 志田 憲太郎)

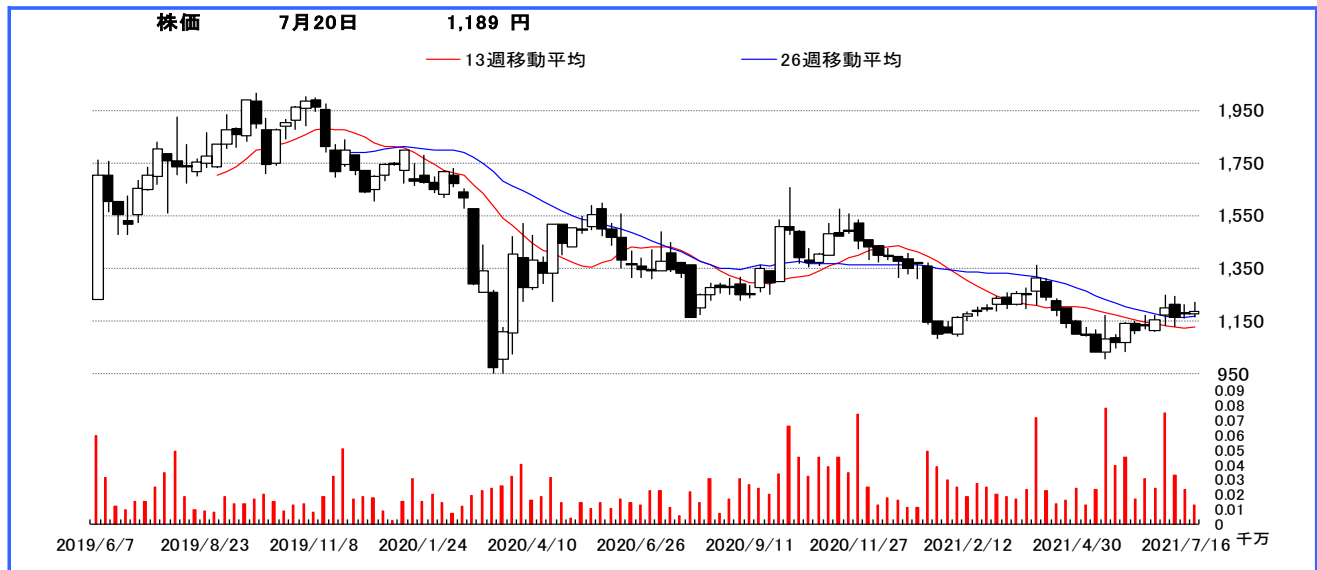
## 今週の予定

	国内	海外
7/26 (月)	7月製造業PMI(9:30) 中外製薬(4519)2Q決算	[独]7月IFO企業景況感指数(17:00) [米]6月新築住宅販売件数(23:00)
27(火)	信越化学(4063)1Q決算 三菱自動車(7211)1Q決算 シマノ(7309)2Q決算	[米]6月耐久財受注(21:30) [米]7月消費者信頼感指数(23:00) [米]FOMC(~28日)
28(水)	アドバンテスト(6857)1Q決算	[豪]4-6期四半期消費者物価(10:30)
29(木)	村田製作所(6981)1Q決算	[米]4-6月期GDP速報値(21:30)
30(金)	6月鉱工業生産速報値(8:50)	[欧]7月消費者物価指数(18:00)
31(土)	パラグライダー記念日	[中]7月製造業・非製造業PMI(10:00)
8/1(日)	「ユニクロ心齋橋店」閉店	[メキシコ]国民投票

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄 **スターマイカHD (2975)** 東証1部



19年11月期 (百万円)		前年比	20年11月期 (百万円)		前年比	21年11月期(予) (百万円)		前年比	株価(7/20)	1,189 円
売上収益	32,164	-	39,568	23.0%	40,013	1.1%		業種	不動産業	
営業利益	3,627	-	3,281	-9.5%	2,982	-9.1%		時価総額	219 億円	
経常利益	2,925	-	2,496	-14.7%	2,269	-9.1%		PER(予想)	13.9 倍	
当期純利益	2,023	-	1,729	-14.5%	1,571	-9.1%		PBR(実績)	1.04 倍	
EPS(円)	111		94.86		86.19			ROE(実績)	9.07 %	
配当金(円)	16		32		26			配当利回り(予想)	2.18 %	
								担当	松本 直志	

\*2019年11月期第2四半期末までの配当金については、子会社であるスターマイカ株式会社が2019年11月期第2四半期末に16円00銭の配当を実施しております。

出所：業績に関する数値は決算短信より

中古マンションの販売、賃貸業を運営。賃貸中のファミリー向け中古マンションを1室単位で購入し、物件保有中は入居者から賃貸収入を得て、入居者の退去後はリフォームを行い売却している。居住者がいることで売りにくい賃貸物件の方が、売りやすい空室物件と比べ買い手が少なく取引価格が低い傾向があることを利用して、売却益を確保している。耐震性や補強工事の有無、マンション共用部の管理状況など厳格な審査プロセスを経て物件を購入。20年11月末時点の保有物件の地域別構成比は東京都が41.2%、神奈川県14.7%、埼玉県6.2%、千葉県2.9%、大阪府、兵庫県など関西圏21.1%、福岡県、愛知県、北海道などその他13.9%。平均築年数は29.8年、平均購入価格は1,940.1万円。利便性が高く売りやすいマンションを様々なエリア、築年数で構成されるポートフォリオで保有し、リスクを分散化している。21年11月期2Q累計売上総利益(評価損除く)の構成比は中古マンション売買取が62.1%、中古マンション賃貸が32.6%になっている。

21年11月期2Q累計決算は前年同期比26.0%増収、36.1%営業増益。供給減や建設費、地価の上昇、投資マネー流入などにより新築マンション価格が高騰していることで、中古マンション市場は品薄感が強まるほど活況になっており、中古マンション販売が前年同期比30.4%増収と好調に推移。中古マンション市場の在庫が減少し、価格に上昇圧力がかかっているが、新築マンションと比べて割安なため、一般家庭が東京都や神奈川県など好立地でマンションを買うなら中古マンションも有力な選択肢になっている。木材価格の高騰により戸建て住宅にも価格上昇圧力がかかっていることや銀行も住宅ローンに前向きな融資姿勢を示しており、中古マンション市場は今後も好調に推移することが見込まれる。下期は中古マンションの仕入れを強化する方針を示しており、来期に向けて業績拡大が続くことが期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくご願ひ致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(7/20)	コメント
<b>ファースト コーポレーシ ョン</b> (1430) 東証1部 770円	21年5月期通期決算は前年同期比10.7%減収、24.1%営業増益。主力の新築マンション建築で工期の遅れがあったが、不動産売上がけん引し利益は計画を上振れ着地。マンション建築の引き合いは強く、受注は前年同期比61.3%増。三菱地所レジデンス、野村不動産など大手顧客の獲得や物件の大型化が進み受注残も豊富に確保。今期は前年同期比26.7%増収、3.2%営業増益計画。不動産売却益は減少も、再開発案件の着工によりマンション建築が拡大見込み。(松本 直志)
<b>串カツ田中 HD</b> (3547) 東証1部 1,708円	21年11月期2Q累計決算は前年同期比45.4%減収、12.3億円の営業赤字、2Q(3-5月)時点までに入金のあった雇用調整助成金及び感染拡大防止協力金を営業外で計上したが4.6億円の経常赤字。上期の決算が計画に対して下振れ着地となったことに加えて、休業による影響が8月まで継続し、その後緩やかに回復することを想定したうえで、通期は34.5%減収、23億円の営業赤字、1.8億円の経常黒字計画に下方修正した。(多功 毅)
<b>メディアドゥ</b> (3678) 東証1部 4,450円	22年2月期1Q(3-5月)決算は前期比40.0%増収、14.3%営業増益、37.0%最終増益。四半期売上高、利益共に過去最高を更新した。DMMブックスが実施した最大100冊まで全作品70%OFFキャンペーンにより4月の売上が大きく伸長したことで、巣ごもり消費の特需を受けて好調だった前期1Qからさらに売上が成長した。電子書籍を手掛ける出版社2,200超、大手を含む電子書店150書店と取引があり、今期も通期を通して市場成長を享受できる見込み。また、ブロックチェーン技術を駆使したコンテンツのサービスを展開していく計画。(志田 憲太郎)
<b>Sansan</b> (4443) 東証1部 8,110円	21年5月期通期決算は前年同期比21.1%増収、2.7%営業減益。クラウド名刺管理サービスのSansanがけん引し売上は会社予想の上限付近で着地も、営業利益は人員増強やTVCMなど先行投資を積み増したことで下振れ。今期は前年同期比25.0~28.0%増収、営業利益は38.9%減~8.6%増の計画。従業員1,000人以上の大企業におけるSansanの利用率は3.1%にとどまっており、人員増強や広告宣伝の強化で売上拡大を目指す方針。(松本 直志)
<b>ユーピー アール</b> (7065) 東証2部 2,348円	21年8月期3Q累計決算は前期比3.2%増収、58.1%営業減益、47.9%最終減益。併せて通期見通しを下方修正した。従来は3Qから需要が回復する見込みだったが、再度の緊急事態宣言の発出等、国内消費が低迷、主力の保管用パレットは大幅減少となった。一方で、物流業界における省人化、非接触化ニーズの高まりで輸送用パレットは需要が拡大した。今後は24年のトラックドライバーの時間外労働上限規制の適用に向けてパレット輸送化が加速していく見通し。(志田 憲太郎)
<b>コーナン商事</b> (7516) 東証1部 4,315円	22年2月期1Q(3-5月)決算は新規出店効果で前年同期比0.7%増収、前年にコロナ禍での密回避のために抑制した広告宣伝費を平常化させたことや、出店増に応じた人件費などのコスト増で14.8%営業減益。減益決算ではあるものの、コロナ特需が一巡するなか、獲得した新規顧客のリピーター化に成功しておりペット用品、園芸用品などを中心に会社想定以上に健闘している。通期0.1%増収、11.4%営業減益計画の上振れ着地が期待される。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

## ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室